



南会津 のうりんニュース

今月の写真：「大内宿」(下郷町)

今年も大内宿の雪祭りが2月11～12日にかけて開催されました。

この写真は、雪祭りの中、ふと足をとめて撮影した凍み大根です。厳しい寒さに耐え忍びつつも春の訪れを待ち望んでいる凍み大根と、ぬくもりが感じられる民家との対照的な風景をカメラに収めてみました。

今月の内容：

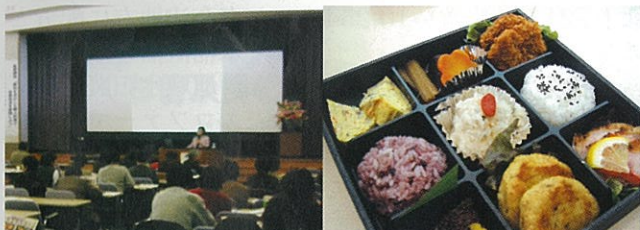
- 今月のトピックス
 - ・ふるさと南会津『地域の宝』再発見フォーラムを開催
 - ・皆さんの元気が南会津の元気です！、ほか
- 特集
 - その1「水稲直播栽培を始めよう！」
 - その2「みんなでエコファーマーになろう！」
- ひとくち普及情報
 - 元気を発信する里
- 南会津の木のはなし
 - 北野神社の大杉(南郷村大新田地区)
- 今月のコラム
 - 「なかやま雪月火まつり」
- 農林事務所からお知らせ
 - 山火事を予防しましょう！

平成17年3月10日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

ふるさと南会津『地域の宝』

再発見フォーラムを開催



南会津地方の「景観」や「食」などの『地域の宝』を再発見し、交流人口拡大のために、地域住民がなすべきことを考えるため、2月22日に、ふるさと南会津『地域の宝』再発見フォーラムを開催しました。

当日は、旅館・民宿業者、商工業者、地域づくり団体、食生活改善推進員、各団体組織の会員などから約110名が参加しました。

午前は、「景観」をテーマに、「魅力あるまちづくりと効果的なプロモーション戦略」について、(株)地域活性プランニング代表取締役の藤崎慎一氏から、ロケーション等を活用した地域活性手法など地域住民にとって刺激ある講演をしていただきました。

また、午後からは「食」をテーマに、昼食には南会津・会津産食材のみを使用した、地産地消お弁当「会津健康奨励弁当」(あいづふるさと市町村圏協議会プロデュース、(株)仁和食産製作)を参加者に販売し、大変好評でした。また、昼食時間を利用し、管内2つの加工グループ(友遊クラブ(南郷村)、かあちゃんにここ市(館岩村))による地場製品の販売を行いました。更に昼食終了後は、「素材を活かした郷土料理

で地産地消を実践しよう」と題して、郡山女子大学助教授の平出美穂子氏による講演会を開催し、平出氏からは、会津の郷土食を伝承する手立てなど地産地消を考えるうえで参考になるお話しを頂きました。また平成17年度福島県地域づくりサポート事業概要説明会も併せて開催しました。

今回のフォーラムをきっかけに、『地域の宝』を活用した住民主体の地域づくりが進められ、更なる地域振興が図られることが望まれます。

(地域農林企画室)

皆さんの元気が南会津の元気です！

農産物直売所やグリーン・ツーリズムなど、南会津地方の活性化に取り組む皆さんに、講演会を開催しました。

2月9日、下郷町の下郷ふれあいセンターで開催したこの講演会は、午前中を「農産物加工・販売戦略セミナー」として、福島市で農産物の直売やグリーン・ツーリズムに取り組んでおられる佐々木壽美子さんによる講演と、地元の皆さんの手による加工品を勢ぞろいさせて意見を交換し合う、加工品求評会を行いました。

消費者の声と作る人の個性を反映させつつ、地域の「本物」を消費者に提供してもらいたいという、佐々木さん自身の経験に基づいた講演に続いて、加工品求評会では、菓子類のほか、味噌、漬物やパン、ベーコン、さらには工芸品に至るまで本当に多様な出品がありました。試食をとおして参加者の皆さんの間で感想を交換し合えたなど、普段の活動にもいい刺激になりました。

午後は、「グリーン・ツーリズム推進大会」として、野岩鉄道常務取締役の渡部雅俊さんによる講演「地域

(2ページに続く)

(1ページから続く)



づくりはアイデアと行動で！～鉄道を活かした取り組みを例に」を行いました。

渡部さんは自らのアイデアと行動で、これまで数々のイベントを開催してきた方です。ご自身の経験をもと

に「誰だって、元気に美しく豊かな生活を送りたいもの。とはいえ、自分で動こうとしないと、何にも起こらない。発想を転換して、常識にとらわれずに、心に元気を持ってがんばろう。」といった内容の話をされました。

今回の講演会が、南会津の元気を作る皆さんのためになれば幸いです。

(地域農林企画室、農業普及部)

「生き残れる米づくり」のための研修会



今年の米作りの始まる春を前に、郡内各町村で米生産の振興のための会議や研修会などが行われています。

田島町では2月17日、御蔵入交流館多目的ホールにおいて、

町と農業委員会により「田島町生き残れる米づくり講習会」が開催されました。これは稲作農家の方に、これからの米づくりを考えていくうえでの基礎的な知識を共有してもらおうというものです。

研修は、環境にやさしい農業に取り組む、岩瀬郡清流米生産組合長の須田氏が「安心・安全な米づくり」と題して講演したあと、南会津農林事務所により「環境にやさしい米づくりと水稲直播栽培について」の説明を行い、その後JA会津みなみにより「特別栽培あき

たこまちの取り組みについて」の説明を行いました。会場に集まった参加者約100名は熱心に聞き入っていました。

今後、田島町は関係機関の協力を得ながら、具体的な研修会の開催を予定していくとのことです。

(農業普及部)

南会津地域水田農業改革推進本部 会議開催される！



本年度からスタートした米政策改革を契機に、「消費者重視・市場重視の米づくり」の観点から、米の生産・流通体制の強化や消費拡大対策、地域農業の再構築等の改革に取り組んでいるところですが、南会津地方の水田農業改革に関

係機関・団体が一体になって取り組むための「南会津地方水田農業改革推進本部会議」が平成17年2月10日に、田島町の御蔵入交流館で開催されました。

会議では、本年度の水田農業改革アクションプログラムの推進状況及び次年度の推進方策、平成17年度産米の生産目標数量、町村毎に策定している地域水田農業ビジョンの見直し(案)、平成17年度水稲振興方針等について協議を行いました。

特に、平成17年度産米の生産目標数量では、前年度より321トン少ない10,254トンが南会津地方に配分となり、環境にやさしい米づくりや水稲直播の取り組み等が配分量に大きく反映すること。地域水田農業ビジョンの見直しでは、特別栽培米、エコファーマーによる栽培、水稲直播栽培、大豆生産拡大について各町村が取り組むこと等について意見交換がなされ、水田農業改革アクションプログラムの実現に向け、売れる米づくりの推進と園芸作物による産地拡大により、水田農業構造の改革を推進することを確認しました。

(農業振興部)

★ 特集！

お米特集 (第4回)

その1 「水稲直播栽培を始めよう！」

水稲栽培の省力化と低コスト化を目指して、直播栽培が県内各地で取り組まれています。水稲直播栽培は、春作業の競合回避や収穫期間の拡大というメリットがあり、規模拡大を図ろうとする稲作経営や園芸作物との複合経営においてその導入が期待されている栽培法です。

また、ここ数年、新たな技術や農業機械・農業等の開発により安定した生育・収量が期待できるようになりました。

特に、以前の直播栽培では、播種時に湛水し、動力散布機や無人ヘリコプター等で散播する方法であったため、コーティング種子が田面に落ちた状態となり、浮苗やころび苗、鳥害により苗たちが安定しませんでした。新しい技術では、点播機や条播機により加温処理したコーティング種子を土壌中に播種し、その後出芽するまで落水させることにより、苗たちが安定するようになりました。

(3ページに続く)

(2ページから続く)

これら新しい技術の導入により、南会津地域でも確実に面積が拡大していますが、直播栽培は播種機やコーティング機など新たな装備が必要となることから、集団で取り組むとともに、各種補助事業等を有効に活用しましょう。

また、水利調整や作業効率、鳥害対策を考慮すると、直播ほ場の団地化も必要となりますので、集落の話し合いにより実現させましょう。

南会津地方における水稻直播栽培面積の推移

| 地域名 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 |
|-------|-------|--------|--------|--------|
| 南会津全体 | 5.9ha | 20.1ha | 54.9ha | 59.8ha |

低コスト・省力化米づくり促進事業は、稲作生産の低コスト・省力化を目指し、一定の規模以上で直播栽培に取り組む団地等（範囲は町村内程度）に対

して、その取り組み内容に応じて助成するものです。

また、直播機やコーティングマシン等を導入するための助成もありますので、お問い合わせ下さい。

低コスト・省力化米づくり促進事業助成額

(単位：千円)

| 団地規模 | 基本助成 | 経営規模拡大助成 | 先導的営農確立助成 | 合計額 |
|-----------------|----------|----------|-----------|-------|
| 80ha以上 | 1,000 | 600 | 600 | 2,200 |
| 50~80ha未満 | 800 | 500 | 500 | 1,800 |
| 30~50ha未満 | 600 | 400 | 400 | 1,400 |
| 20~30ha未満 | 450 | 275 | 275 | 1,000 |
| 10~20ha未満 | 300 | 150 | 150 | 600 |
| 5~10ha未満 | 200 | 50 | 50 | 300 |
| 新規導入農業者(30ha以上) | 10千円(定額) | | | |

※この表は平成16年度の助成額です。団地規模、助成額等については平成17年4月に改正の予定です。

(農業振興部)

その2 「みんなでエコファーマーになろう！」

エコファーマーとは、『たい肥等による土づくりと化学肥料と農薬を一般的な栽培法から20%以上減らす』という環境に配慮し農地の生産力を維持・増進する農業に一体的に取り組む農家のみなさんを、県知事が認定するものです。

より安心・安全なお米を消費者が求めていること

から、環境に考慮したエコファーマーによる栽培等に組織や集落で取り組みましょう。

※詳しくは、バックナンバー平成16年6月号「お米特集第1回」及び平成16年9月号「お米特集第2回」を参照して下さい。

(農業振興部)

ひとくち普及情報

元気を発信する里



下郷町の戸赤地区は、世帯数21戸、人口50余人の殆どが40代以上と、この地方で多く見られるようになった山間部の過疎の集落の一つです。そしてここは、皆さんお目に、或いはお

耳にしたことがあると思いますが、春には集落を上げて守ってきたオオヤマザクラで山一面が淡紅色に染まり、多くの観光客が訪れる地域でもあります。また、木地小屋という地名もあるように、かつては多くの木地師（ブナ等を伐採し、ろくろを用いて円形の木製品を作る職人）が住んでいた、そんな森の恵みを受けながら生活してきた地域でもあります。

このような集落に活気を取り戻そうと立ち上がったのが熟年の方々です。町の「元気な町づくり支援事業」への応募をきっかけに、地区の全住民による「戸赤村作り実行委員会」を発足させ、『良いもの』

を見つめ直し、地域づくりに活かそうと村おこしを始めました。

そうして完成したのが、県の助成も活用した水車式ろくろと、白炭炭窯です。

地区の人々は、昔を懐かしむように窯から赤々とした炭を出し、手際良く炭俵を編み、炭の荷造りを行っていました。手が当時の感触を覚えているような手際の良さです。また、水車式ろくろでは、さすがに経験した方は居なくなり、削り方が思うようにいかないものの、すっかり引き込まれていました。水車式ろくろが稼働しているのは、全国でもここだけなんだそうです。

平成4年に完成し、今では休校中で、雪に埋もれてひっそりと佇んでいる、木の香る木造の分校校舎を活用し、ろくろや炭窯の体験と結びつけた宿泊施設への改修構想も、具体的に動きつつあります。大きな夢を着実に実現していく、小さくともとても元気な地区を紹介しました。

(森林林業部)



北野神社の大杉 (南郷村大新田地区)

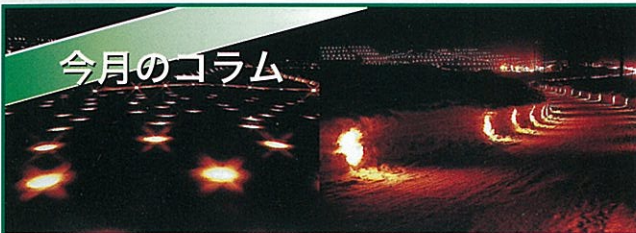
(南郷村 農林課)

今回紹介する木の話は、南郷村大新田地区にある北野神社のご神木となっている大杉です。樹齢約500年・樹高50m・周囲9.1mの大木で樹勢は良好であり、神社を背後から守るかのように静かに鎮座しています。その樹形は「亭々と屹立する威容」と形容され、県緑の文化財にも

登録されています。

北野神社は北野天神同様、菅原道真公を祭っており、延宝3年(1675)に勧請されたといわれていますが、推定樹齢からすると、大杉の方が若干先輩のようです。

今月のコラム



「なかやま雪月火まつり」

昨年4月地元南会津に赴任して、早いものでもう一年が経つ、久しぶりの冬の南会津で改めて感動させられたことがあった。

それは、2月12日下郷町大内宿雪まつりの帰り道のことで。

大内宿での、御神火の松明を持って下帯姿の地元の若衆が威勢よく宿場内を駆け抜けていく姿、そして雪の夜空に色とりどりの花火の色と音、幻想的な宿場を後に、大げやきがある中山集落にかかったときである。

集落から下流に広がる雪ですっぽりと覆われた中山花の里公園が、1,000本のろうそくの火で、雪を透かして輝いているのではありませんか。

雪と火のコラボレーション「なかやま雪月火まつり」の会場だったのです。

ろうそくの小さな炎がペットボトル一本一本に収められ、雪の中に埋め込まれ、雪を透かして廻り一面に、花が咲いたように光っていた。このような光景は見たことがなく、ただただ呆然と立ち感動を覚えるのみであった。

聞くとところによると、地元の青年会が地域おこしの一環として冬の来客が少ないこの地区に、わずか一ヶ月間で完成されたとのこと。当日の入場者は、予想を超える約300名が来場したとのこと。また、中山区や婦人会の協力により売店も出され無料のおしるこなども振る舞われていました。

南会津地域では、雪を利用したこうした雪まつりなどが各地で行われ、冬の南会津の良さを内外にPRしていくことは、毎日の除雪作業等で鬱ぎがちな私たちや多くの人に元気を与えるものであります。今後、こうした活動が地域の自然や文化を生かした観光や農林業の活性化に広がっていくことを期待します。

本当に素晴らしい「灯火」をありがとうございました。

(農業振興部副部長 稲本太郎)

農林事務所からお知らせ



山火事を予防 しましょう！

(森林林業部)

春を迎え、空気が乾燥し、山火事が発生しやすい時期になりました。

山火事の原因は、たばこの投げ捨てやたき火の延焼など、そのほとんどが人の不注意によるものです。

一人一人が注意すれば、山火事を防ぐことができます。

山に入ったら、火を使わないようにし、豊かな南会津の森林を守りましょう。

～小さな火 山に捨てると 大きな火～

お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.hukushima.jp

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

R100

PRINTED WITH SOY INK™

古紙配合率100%再生紙を使用しています。
この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。